



「行きたくない」「予算内でどうやり繰り？」 学びとマネーの専門家が答えます

習い事をめぐる保護者のよくある悩み。花まる学習会代表の**高濱正伸さん**と、ファイナンシャルプランナーの**坂本綾子さん**に、解決法を聞きました。



たかはま・まさのぶ/
花まるグループ代表。
算数オリンピック作
問委員。



さかもと・あやこ/金
融・経済記事の執筆、
家計相談やセミナー
などを行う。

習い事に「行きたくない」と 言われたら？

高濱 保護者の悩みで一番多いのがこの問題。理由はいろいろありますが、親が原因を作ってしまう場合も多いです。

たとえば比較。きょうだいや友達と比べて「上手じゃない」「練習時間が短い」などと親が言えば、楽しくやっていたことでも嫌いになってしまいます。親が「練習しなさい」と押しつけるようにやらせるのも、嫌いになる原因です。また、ピアノなどを親戚の前で無理やり披露させられた結果、急に嫌いになったという話もよく聞きます。本人が嫌がることを

無理にやらせても、いい結果にはなりません。楽しく取り組める環境を作ることが、何より大事です。

意外に多いのが、弟や妹への嫉妬です。自分が習い事に行っている間に、弟や妹に親を取られる気がするのです。子どもが親から関心を持たれていると思えるように、1対1で接する時間を作ることなどが大切です。

習い事をやめるべきかどうか 悩んだ時は？

高濱 続けるべきかやめるべきかを一番よくわかっているのは、親です。ちょっと甘えているだけなのか、本当に嫌なのか。その判断は子どもの様子を見るに尽きます。「これは無理だな」と思ったら、深くやめていいと思います。ただし、よくないのは、親が感情的になってやめさせてしまうパターンです。「やると言ったのに続かなかった」「宿題をやらないからやめさせる」などと責めて、子どもの心に傷を残すことは避けましょう。

習い事にかかるお金の目安は？

坂本 就学前のお子さんについては、2019年10月から幼児教育・保育の無償化が始まりました。月数万円が浮く計算であれば、その一部を習い事にあて、残りを貯蓄に回すことができますね。私は、児童手当(原則3歳未満は

1人月1万5千円、3歳から中学校卒業までは同月1万円で所得制限あり)は、大学進学のために貯蓄することを勧めています。そのうえで、習い事にかかる費用は、収入や子どもの数などをふまえて、「わが家は月々この金額まで」という目安を決めておくことが大切です。

限られた予算内で 習い事を選ぶ場合のポイントは？

坂本 習い事は食事にたとえれば外食のようなもの。親が教えるのが難しい部分を、プロにお金を払って頼むのです。お金に余裕があればすべて外食でもいいのですが、そうでない場合は「自炊」という選択肢もあります。

私には社会人と高校3年生の2人の子がいます。上の子が小学生の時、スイミングを始めさせたいと思ったのですが、本人が嫌がりました。仕方がないので、私が自宅近くのプールに連れていき、水に慣れて少し泳げるくらいのレベルまでは教えました。

お金のためにそうしたわけではありませんでしたが、振り返ってみると、毎回の練習は2時間400円のプール代だけで済みました。スイミングスクールに通った下の子と比べると、かかったお金の差は歴然です。もし費用の面で難しい習い事があるなら、「外食」以外の方法も考えたり探したりしてみてください。

(この特集は斉藤純江が担当しました)